英文法 L01 第 42 講 see・hear・feel などの知覚

学習目標

see・hear・feel などの知覚動詞の後ろに目的語と動詞の原形または-ing 形を置く形を理解し、原形と-ing 形の意味の違いを説明できる。

1. 知覚動詞とは何か

知覚動詞とは、人や物を見たり、聞いたり、感じたりすることを表す動詞である。代表的なものに、see（見る）、hear（聞く）、feel（感じる）がある。

これらの動詞では、見たり聞いたり感じたりした対象に加えて、その対象がどのような動作をしていたかを表すことができる。

たとえば、トムが橋を渡る場面を見たとき、英語では次のように表現できる。

I saw Tom cross the bridge.

トムが橋を渡るのを見た。

この文では、saw（見た）の後ろに Tom（トム）と cross（渡る）が続いている。Tom は、後ろの動詞 cross が表す動作を行う人である。

I saw Tom cross the bridge.

S [主語]: “I”

V [動詞]: “saw”

O [目的語]: “Tom”

C [補語]: “cross the bridge”

このように、知覚動詞の後ろに「目的語＋動詞」を置くと、目的語がその動作をする場面を見たり聞いたり感じたりしたことを表せる。

2. 基本の形

知覚動詞の後ろには、目的語と動詞の原形、または動詞の-ing 形を置く。

目的語

目的語とは、動詞の動作の対象などを表す語句である。この構文では、目的語が後ろの動詞の動作を行う主体になる。

ポイント

知覚動詞＋目的語＋動詞の原形

目的語が行う動作を、ひとまとまりの出来事として捉える形。

知覚動詞＋目的語＋動詞の-ing 形

目的語が行っている動作の進行中の場面に焦点を当てる形。

©ミライコーチング

動詞の原形とは、ここでは動詞を-ing 形などに変化させていない基本の形を指す。たとえば、cross（渡る）が原形であり、crossing（渡っている）が-ing 形である。

3. 原形と-ing 形の意味の違い

同じ場面でも、動詞の原形を使うか-ing 形を使うかによって、動作の捉え方が変わる。

I saw Tom cross the bridge.

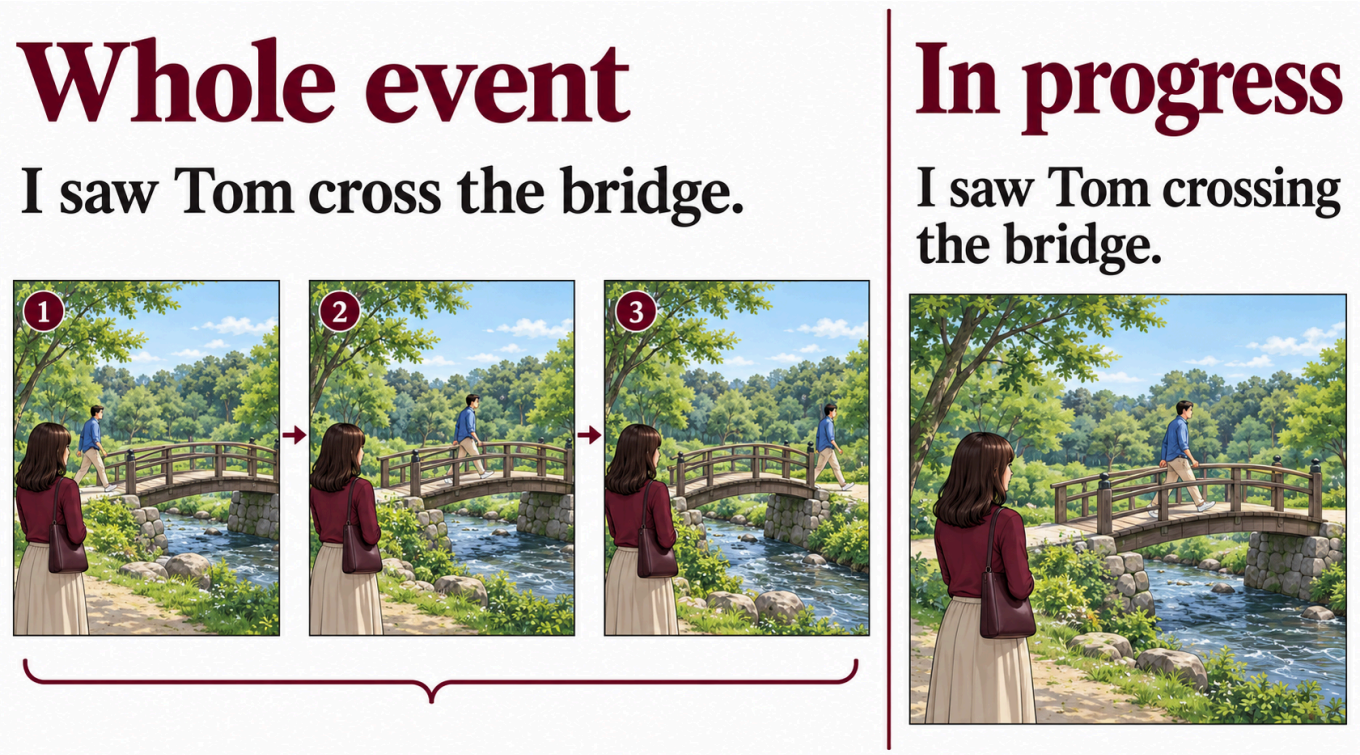
トムが橋を渡るのを見た。

cross は原形であり、トムが橋を渡るという出来事全体をひとまとまりとして捉えている。

I saw Tom crossing the bridge.

トムが橋を渡っているところを見た。

crossing は-ing 形であり、トムが橋を渡っている途中の場面に注目している。



Whole event は「出来事全体をひとまとまりとして捉える」、In progress は「進行中の場面に焦点を当てる」を表す。

原形は出来事全体、-ing 形は進行中の場面に焦点を置く形である。ただし、-ing 形を使ったからといって、実際にその動作が最後まで完了しなかったとは限らない。違いは、話し手が動作をどのように捉えているかにある。

4. see・hear・feel を使った基本例

知覚動詞が変わっても、基本の構造は同じである。

I saw a bird fly.

鳥が飛ぶのを見た。

saw の後ろに a bird（鳥）と fly（飛ぶ）が続いている。鳥が飛ぶという出来事をひとまとまりとして捉えている。

©ミライコーチング

I heard someone sing.

誰かが歌うのを聞いた。

heard の後ろに someone（誰か）と sing（歌う）が続いている。誰かが歌うという出来事を聞いたことを表している。

I felt the ground shake.

地面が揺れるのを感じた。

felt の後ろに the ground（地面）と shake（揺れる）が続いている。地面が揺れるという出来事を感じたことを表している。

このように、see・hear・feel のいずれでも、後ろに「目的語＋動詞の原形」を置いて、目的語が行う動作を表現できる。動詞の-ing 形を使う場合も基本の構造は同じであり、進行中の場面に焦点が移る。

5. 例題

1

次の英文の空所に入る語として、出来事全体をひとまとまりとして表す動詞の原形を選べ。

I heard the baby ___ in the next room.

A. cries

B. cry

C. cried

D. to cry

解答・解説

正解：B. cry

知覚動詞 hear の後ろで「目的語＋動詞の原形」を使うと、目的語が行う動作をひとまとまりの出来事として表せる。ここでは、the baby（赤ちゃん）が cry（泣く）という動作を行うため、原形の cry を選ぶ。

完成英文

I heard the baby cry in the next room.

隣の部屋で赤ちゃんが泣くのを聞いた。



hear は「聞く」、the baby は「赤ちゃん」、cry は「泣く」を表す。壁と扉の向こうにいる赤ちゃんを直接見ず、その泣き声を聞いている場面である。

各選択肢の確認

A. cries 三人称単数現在形である。知覚動詞の後ろに置くこの構文では、動詞を三人称単数現在形にしない。

B. cry 正解。動詞の原形であり、赤ちゃんが泣くという出来事全体をひとまとまりとして表せる。

C. cried 過去形である。知覚動詞の後ろに置くこの構文では、動詞を過去形にしない。

D. to cry to 不定詞である。この構文では、目的語の後ろに to 不定詞を置かず、動詞の原形を使う。

2

次の英文の空所に入る語として、動作の進行中の場面に焦点を当てる-ing 形を選べ。

I saw the children ___ in the park.

A. playing

B. plays

C. played

D. to play

解答・解説

正解：A. playing

知覚動詞 see の後ろで「目的語＋動詞の-ing 形」を使うと、目的語が動作を行っている途中の場面に焦点を当てられる。ここでは、the children（子どもたち）が play（遊ぶ）動作をしている場面を表すため、playing を選ぶ。

完成英文

I saw the children playing in the park.

公園で子どもたちが遊んでいるところを見た。

各選択肢の確認

A. playing 正解。動詞の-ing 形であり、子どもたちが遊んでいる途中の場面に焦点を当てられる。

B. plays 三人称単数現在形である。目的語の後ろに置くこの構文では、動詞を三人称単数現在形にしない。

C. played 過去形である。目的語の後ろに置くこの構文では、動詞を過去形にしない。

D. to play to 不定詞である。この構文では、目的語の後ろに to 不定詞を置かず、 動詞の原形または-ing 形を使う。

6. 演習問題

1

次の英文の空所に入る語として、動詞の原形を選べ。

We felt the floor ___ during the storm.

A. shakes

B. shake

C. shook

D. to shake

2

次の英文の空所に入る語として、動詞の-ing 形を選べ。

Mia heard her brother ___ upstairs.

A. sings

B. sang

C. singing

D. to sing

3

次の英文の空所に入る語として、動詞の原形を選べ。

They saw a cyclist ___ the road.

A. crosses

B. crossed

C. to cross

D. cross

4

次の英文の空所に入る語として、動詞の-ing 形を選べ。

I felt the table ___ slightly.

A. moving

B. moves

C. moved

D. to move

5

次の英文の空所に入る語として、動作をひとまとまりの出来事として表すものを選べ。

We saw a bird ___ over the lake.

A. fly

B. flying

C. flies

D. to fly

6

次の英文の空所に入る語として、動作の進行中の場面に焦点を当てるものを選べ。

Nora heard someone ___ in the hall.

A. sings

B. sing

C. to sing

D. singing

©ミライコーチング

7

次の英文の空所に入る語として、動作をひとまとまりの出来事として表すものを選べ。

We felt the bus ___ forward.

A. moving

B. move

C. moves

D. to move

8

次の英文の空所に入る語として、動作の進行中の場面に焦点を当てるものを選べ。

I heard the bell ___ in the hall.

A. ring

B. rings

C. ringing

D. to ring

7. 演習問題の解答・解説

1

正解：B. shake

判断の決め手

設問では動詞の原形を選ぶ。知覚動詞 feel の後ろに「目的語＋動詞の原形」を置くと、目的語が行う動作をひとまとまりの出来事として表せる。ここでは、the floor（床）が揺れる動作を表すため、原形の shake を選ぶ。

完成英文と和訳

We felt the floor shake during the storm.

嵐の間、床が揺れるのを感じた。

各選択肢の解説

A. shakes 三人称単数現在形であり、設問で指定された動詞の原形ではない。

B. shake 正解。動詞の原形であり、知覚動詞 felt の後ろで、床が揺れるという出来事をひとまとまりとして表せる。

C. shook 過去形であり、設問で指定された動詞の原形ではない。

D. to shake to 不定詞であり、設問で指定された動詞の原形とは形が異なる。

2

正解：C. singing

判断の決め手

設問では動詞の-ing 形を選ぶ。知覚動詞 hear の後ろに「目的語＋動詞の-ing 形」を置くと、目的語が動作を行っている途中の場面に焦点を当てられる。ここでは、her brother（彼女の兄または弟）が歌っている場面を表すため、singing を選ぶ。

完成英文と和訳

Mia heard her brother singing upstairs.

ミアは上の階で兄（弟）が歌っているのを聞いた。

各選択肢の解説

A. sings 三人称単数現在形であり、設問で指定された動詞の-ing 形ではない。

B. sang 過去形であり、設問で指定された動詞の-ing 形ではない。

C. singing 正解。動詞の-ing 形であり、兄（弟）が歌っている途中の場面に焦点を当てられる。

D. to sing to 不定詞であり、設問で指定された動詞の-ing 形とは形が異なる。

3

正解：D. cross

判断の決め手

設問では動詞の原形を選ぶ。知覚動詞 see の後ろに「目的語＋動詞の原形」を置くと、目的語が行う動作をひとまとまりの出来事として表せる。ここでは、a cyclist（自転車に乗った人）が道路を横切る動作を表すため、原形の cross を選ぶ。

完成英文と和訳

They saw a cyclist cross the road.

彼らは自転車に乗った人が道路を横切るのを見た。

各選択肢の解説

A. crosses 三人称単数現在形であり、設問で指定された動詞の原形ではない。

B. crossed 過去形と同じ形であり、設問で指定された動詞の原形ではない。

C. to cross to 不定詞であり、設問で指定された動詞の原形とは形が異なる。

D. cross 正解。動詞の原形であり、自転車に乗った人が道路を横切るという出来事をひとまとまりとして表せる。

4

正解：A. moving

判断の決め手

設問では動詞の-ing 形を選ぶ。知覚動詞 feel の後ろに「目的語＋動詞の-ing 形」を置くと、目的語が動作を行っている途中の場面に焦点を当てられる。ここでは、the table（テーブル）がわずかに動いている場面を表すため、moving を選ぶ。

完成英文と和訳

I felt the table moving slightly.

テーブルがわずかに動いているのを感じた。

各選択肢の解説

A. moving 正解。動詞の-ing 形であり、テーブルが動いている途中の場面に焦点を当てられる。

B. moves 三人称単数現在形であり、設問で指定された動詞の-ing 形ではない。

C. moved -ing 形ではなく、設問で指定された形に合わない。

D. to move to 不定詞であり、設問で指定された動詞の-ing 形とは形が異なる。



feel は「感じる」、the table は「テーブル」、moving slightly は「わずかに動いている」を表す。指先で軽く触れ、テーブルがわずかに動いているのを感じる場面であり、本人が押して動かしている場面ではない。

5

正解：A. fly

判断の決め手

設問では、動作をひとまとまりの出来事として表す形を選ぶ。知覚動詞 see の後ろに「目的語＋動詞の原形」を置くと、目的語が行う動作をひとまとまりとして捉えられる。ここでは、a bird（鳥）が湖の上を飛ぶ出来事を表すため、fly を選ぶ。

完成英文と和訳

We saw a bird fly over the lake.

湖の上を鳥が飛ぶのを見た。

各選択肢の解説

A. fly 正解。動詞の原形であり、鳥が湖の上を飛ぶという出来事をひとまとまりとして表せる。ただし、鳥の飛行の全行程を必ず目撃したと断定するものではない。

B. flying 動詞の-ing 形である。文法的に使える形だが、進行中の場面に焦点を当てる形であり、設問が指定する出来事全体をひとまとまりとして表す形とは焦点が異なる。

C. flies 三人称単数現在形である。この構文で目的語の後ろに置く動詞の形としては適切でない。

D. to fly to 不定詞である。この構文では、目的語の後ろに動詞の原形を置くため、指定された形に合わない。

6

正解：D. singing

判断の決め手

設問では、動作の進行中の場面に焦点を当てる形を選ぶ。知覚動詞 hear の後ろに「目的語＋動詞の-ing 形」を置くと、目的語が動作を行っている途中の場面に注目できる。ここでは、someone（誰か）が廊下で歌っている場面を表すため、singing を選ぶ。

完成英文と和訳

Nora heard someone singing in the hall.

ノラは廊下で誰かが歌っているのを聞いた。

各選択肢の解説

A. sings 三人称単数現在形である。この構文で目的語の後ろに置く動詞の形としては適切でない。

B. sing 動詞の原形であり、文法的には使える形だが、動作をひとまとまりとして捉えるため、設問が指定する進行中の場面に焦点を当てる意味とは異なる。

C. to sing to 不定詞である。この構文では、目的語の後ろに動詞の-ing 形を置くため、指定された形に合わない。

D. singing 正解。動詞の-ing 形であり、誰かが歌っている途中の場面に焦点を当てられる。ただし、その後に歌うのをやめたか、最後まで歌い続けたかまでは断定しない。

©ミライコーチング

7

正解：B. move

判断の決め手

設問では、動作をひとまとまりの出来事として表す形を選ぶ。知覚動詞 feel の後ろに「目的語＋動詞の原形」を置くと、目的語が行う動作をひとまとまりとして捉えられる。ここでは、the bus（バス）が前方へ動く出来事を表すため、move を選ぶ。

完成英文と和訳

We felt the bus move forward.

私たちはバスが前に動くのを感じた。

各選択肢の解説

A. moving 動詞の-ing 形である。文法的に使える形だが、進行中の場面に焦点を当てる形であり、設問が指定する出来事全体をひとまとまりとして表す形とは焦点が異なる。

B. move 正解。動詞の原形であり、バスが前に動くという出来事をひとまとまりとして表せる。ただし、バスの動きの全過程を必ず感じ取ったと断定するものではない。

C. moves 三人称単数現在形である。この構文で目的語の後ろに置く動詞の形としては適切でない。

D. to move to 不定詞である。この構文では、目的語の後ろに動詞の原形を置くため、指定された形に合わない。

8

正解：C. ringing

判断の決め手

設問では、動作の進行中の場面に焦点を当てる形を選ぶ。知覚動詞 hear の後ろに「目的語＋動詞の-ing 形」を置くと、目的語が動作を行っている途中の場面に注目できる。ここでは、the bell（ベル）が廊下で鳴っている場面を表すため、ringing を選ぶ。

完成英文と和訳

I heard the bell ringing in the hall.

廊下でベルが鳴っているのが聞こえた。

各選択肢の解説

A. ring 動詞の原形であり、文法的には使える形だが、出来事をひとまとまりとして捉えるため、設問が指定する進行中の場面に焦点を当てる意味とは異なる。

B. rings 三人称単数現在形である。この構文で目的語の後ろに置く動詞の形としては適切でない。

C. ringing 正解。動詞の-ing 形であり、ベルが鳴っている途中の場面に焦点を当てられる。

D. to ring to 不定詞である。この構文では、目的語の後ろに動詞の-ing 形を置くため、指定された形に合わない。

©ミライコーチング